

平成27年度 申さん酉さん達の田作り

～第九期大椎っ子田んぼ、第六期あすみっ子田んぼ 稲刈り編～

9月に入り、地元の方々の田んぼの稲刈りがすっかり終わったところから学校田んぼの稲穂が垂れ始めます。大椎っ子田んぼは9月28日、あすみっ子田んぼは10月5日に稲刈りを行ないました。稲刈りはカマを使うため、カマが危険なことを伝え、お手伝いのお母さん方がつきっきりでカマの使い方を教えてくださいました。大椎っ子田んぼは9年目、あすみっ子田んぼは8年目を迎えますが、このお母さん方のフォローがあるおかげで今までほとんどケガなく稲刈りを行うことができています。秋晴れのもとたくさんの赤トンボに見守られながらたわわに実った稲穂を刈ったり、生き物観察を満喫した子どもたちの感想です。

◆大椎小学校

☆稲刈りを始める前に、かまの使い方や注意、そして危険な生き物がいることなどの話を聞きました。稲刈りでは、田んぼの水が冷たくとても深かったのでびっくりしました。稲を刈るのは予想以上に大変でした。でも最初は大変だったけれども、なれてきてだんだんできるようになりました。次は自然観察をしました。私はカエルやヤゴ、ザリガニを見つけました。赤トンボだけでも5種類もいると聞いて全部見てみたいなと思いました。稲刈りも自然観察もおもしろかったです。

(B.Y)

☆稲刈りをするために入った田んぼはドロが深くはまりやすかったです。稲を12株刈って結んで、学校までかついて帰って干すまでが「稲刈り」なので、とても大変でした。自然観察では、アカガエルを見つけました。つるつるとしていかわいかったです。山からわいて出てくる水が10年くらいまえの雨水だと聞いて「すごいなあ」と思いました。一番たいへんだったのが帰りです。学校でほすので結わいた稲を肩にかついて帰らなきゃいけないのですが、稲の葉がチクチクしたり学校までの道が上り坂なので歩くのも大変でした。でもおいしいお米ができるといいなあと思いました。

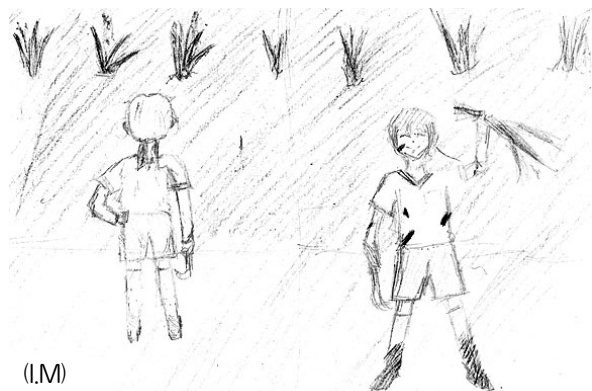
(U.H)

☆稲刈り用のかまには右手用と左手用があることを教えてもらいました。かまは、目では見えにくいけれど、のこぎり状になっているということを教えてもらいました。稲が育っ

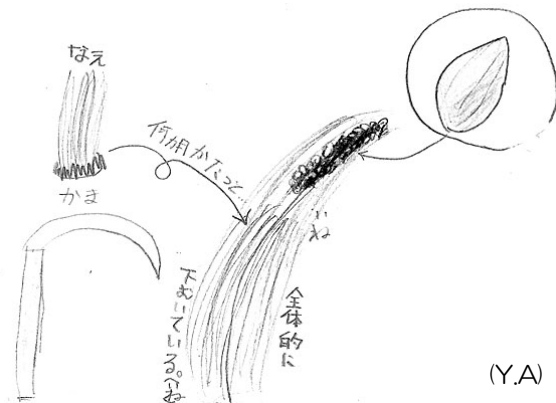
ていることもわかりました。稲を一人12株刈りました。自然観察ではアキアカネなどのトンボがいました。ほかにもヤゴやホトケドジョウや水グモ、カエルなどいろいろな生き物がたくさんいました。トンボは5種類くらいいました。縄でしばった稲を学校まで持ち帰るのがすごく大変でした。干したあとはかわかして脱穀などをするそうです。食べるのが楽しみです。

(S.Y)

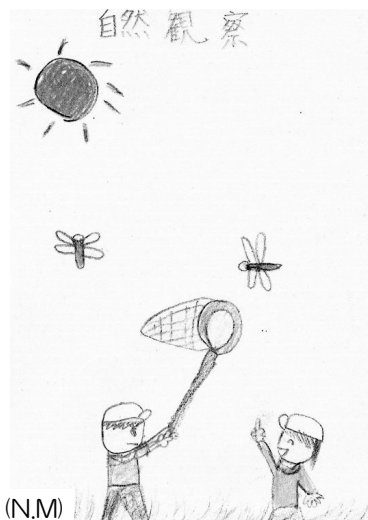
☆田植えをして草取りをして今日やっと稲を刈ることができました。6月に田植えをしてから3カ月後、やっと刈ることができました。田植えをしたときの苗は小さく弱々しい感じでしたが、稲刈りをするときにはすごく立派に成長していました。稲の穂先が下にたれ、田一面が黄金のようにかがやいてとてもきれいでした。6月にいた生き物たちとはことなり、秋になり赤トンボなどがたくさん見られました。ほかにはギンヤンマのヤゴやミズカマキリもいました。ギンヤンマやオニヤンマの姿を見ることはできなかったのですが、ギンヤンマのヤゴが谷津田にいてホットしました。谷津田にはホトケドジョウ、たくさんのヤゴ、ミズカマキリ、アカガエル、タガメなどあまり見かけない生きものがたくさんいたので、谷津田の自然を守っていききたいと思いました。稲刈りが終わりましたが、ほかにも作業があるようなのでその作業もがんばっていききたいです。(K.T)



(I.M)



(Y.A)



(N.M)

☆自然観察ではカエルやヤゴを掴まえている人も多く手が虫でいっぱいになる人もいました。「めずらしい虫をたくさんつかまえたね」と赤シャツおやじさんが言っていました。稲刈りでは、お母さんたちがやり方を教えてくれました。刈っているとだんだんとなれてきて、一発で刈れるようになりました。稲一束がだいたい70本くらいでお茶わん2杯ぶんだと聞いて、お米作りはたいへんなんだなあとあらためて思いました。いろいろな人の話を聞いて、努力してお米をつくっていることがわかり、残してはいけないなと思いました。(K.N)

◆あすみが丘小学校

☆私は稲刈りで鎌を使ってあらためて危ないなと思いました。松下さんや武井さんが詳しく丁寧に教えてくれたおかげでケガをしないで稲刈りをする事が出来ました。最初、中々切れなかったけど、だんだんコツをつかんで稲刈りをする事が出来ました。親指を下にするのに、つつい上に向けてしまいました。でも、最後には指を下に出来たのでよかったです。Y.P.P.の方たちが丁寧に教えてくれたので、きれいに刈れたのでよかったです。もう田んぼには行かないけど、とても楽しかったです。(H.T)

☆ぼくは稲刈りをやるのが初めてだったから大変でした。最初、稲が中々切れなくて他のお母さんとかにも教えてもらいました。一人12株も稲を刈らなきゃいけないので、結構時間がかかったけど、うまく出来たので楽しかったです。稲を切るという事は稲を殺めるという事なので、真剣に楽しく取り組む事が出来ました。(R.N)

☆稲刈りでカマの危険さを感じました。今までの田んぼ活動でも貴重な事をやったと思います。稲が夏よりも伸びていたし、実も黄金色でびっくりしました。カマは親指を下にして刈るとか、足と稲は三角形の形にするなどを教わり、危険ではあったけど、楽しかったし貴重な体験でした。この体験は、みんなとの協力や助け合いがあったから、私は安全にカマを使いケガをせずにすんだと思っています。ボランティアの方々や、Y.P.P.の人達がいたから安全に出来ました。ありがとうございます。(N.I)

☆稲刈りは初めてで、やった時は恐くてびくびくしていました。武井さんが稲を刈る前にちゃんと説明してくれたので、楽しく安全に出来たのでうれしかったです。それで、ボランティアの人が稲を刈る時「上手」と言ってくれて、だんだんコツをつかんできたのがうれしかったです。とても楽しい一日だったのでよかったです。後、他の人たちも優しくしてくれたのでよかったです。(R.T)

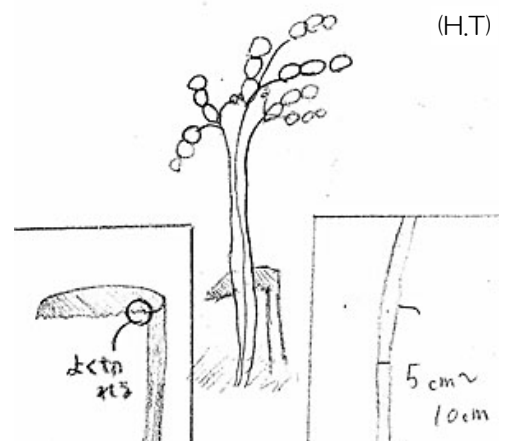
☆いっぱい稲刈りをしたのが楽しかったです。武井さんの話を聞いて、一つの稲に100粒もついている事を知ってびっくりしました。3000粒集まったらお茶碗一杯分と言っていたので、稲を30本も集めないとお茶碗一杯にならない事を初めて知りました。稲刈りをする時、一本の稲を刈るだけでも大変でした。最初は、あまり上手く刈れなかったけど、だんだん出来るようになってうれしかったです。(A.K)

☆初めて稲刈りをして、稲の刈り方や危険な事などをたくさん知れたので、よかったです。武井さんが言っていたように、一本一本の稲がとても大切な事が分かったので、今度から米を一粒も残さないように食べたいです。他にも稲刈りで、夏では稲は緑色でとても短かったけれど、今回は、稲は黄色や金色で、稲もすごく長くなっていたのでびっくりしました。カマを使う時もケガをしないように、武井さんが言っていた事に気を付けて刈れたので、よかったです。丁寧に刈れたので、すごく楽しかったです。(Y.T)

☆今日、初めて靴下をはいたまま田んぼに入りました。そうしたら、いつもより足が重くなってしまいました。そして稲刈りをする時に、中々稲が切れなくてずっと中腰になっていたの、背中が痛くなりました。でもやっているうちに、だんだん慣れてきて1回でしゅっと切れる時、すごく心がスカッとなりました。あと、夏に来た時より、稲の色がすごく変わっていて、びっくりしました。ずっと稲の横の道を歩いて行ったら何本か稲が紫色のがありました。普通の稲の色は黄色なのにそれだけ紫色なので、不思議になりました。(Y.S)



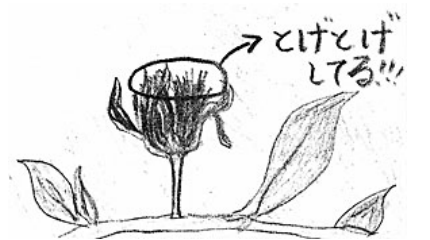
(I.N)



(H.T)



(ヒルの仲間、K.F)



(アメリカセンダングサ、K.F)



里山たんけんレポート

第189回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2015年10月4日（日）晴れ

田んぼの畔ではミソソバ、ヒメジソ、コブナグサなど秋の草花がいっぱいです。キバナアキギリとハナバチの間の受粉の仕組みを観察しましたが、どれほどの長い時を経て進化してきたものか驚嘆です。メナモミ、イノコズチの仲間、チジミザサの仲間などたくさんの種散布の戦略なども見ました。小川の縁の畔では特定外来生物のアライグマの足跡がありました。谷津田の生きものへの食圧が気懸りになりました。山林内では大きくて堂々としたホオベニシロアシグチ、白いイボイボに覆われた気品のあるシロオニタケ、きれいなトキイロヒラタケ、などが見られました。

トンボの調査も兼ねて行いました。トンボは11種88頭を観察、そのうち7種80頭について種・雌雄の別を記録、マーキングをして放しました。8月、9月にマーキングして放した178頭は1頭も捕まりませんでした。春早くに発生する「ニホンカワトンボ」の若い個体がいまいましたがどうしたことでしょう。千葉市・千葉県のリットデータで「A」（最重要保護生物）に指定されている「ホソミイトトンボ」の越冬型の個体も捕まりました。途中ではアケビの実を味わったり、クリ拾いをしたり秋のお楽しみもありました。

（参加者 大人10名、高・大学生8名、小学生5名； 報告：網代春男）

第182回 下大和田 YPP「古代米の稲刈り」(兼、第10回米づくり講座)

2015年10月24日（土）晴れ

後半の稲刈りは古代米の緑米、赤米、そして黒米です。参加してくださった皆さんはコシヒカリの稲刈りで刈り方を習熟しているので、最初からサクサク良い音を立てて調子よく刈り進んでいました。ただ、古代米の田んぼはとても泥深いので歩くのが大変です。今年の緑米は太い株にしっかり育っていて、刈った稲を結わえるのに結構時間がかかり、畦が刈った稲で覆われてしまうほどです。オダもどんどん埋まっていき、今年は豊作のようです。小さな子どもたちも大人と一緒に稲刈りに参加してくれて、頼もしい力になってくれました。そのお陰で、予定よりも早く刈り終えることができました。



稲を刈っていると時折、お腹の大きなニホンアカガエルが飛び出してきました。真冬の産卵に向けて冬眠する場所を探しているのでしょうか。

（参加者 大人29名、大学生1名、小学生16名、幼児5名、報告 高山邦明、写真 田中正彦）

第124回 小山町 YPP「黒米の稲刈り」

2015年10月18日（日）晴れ

コシヒカリの脱穀の予定でしたが、前日が雨だったため、残っている黒米の稲刈りをしました。今年の黒米の実りは今ひとつで、実の入っていない“しいな”の割合が多そうです。少し前にオダがけしていたコシヒカリがカモ(?)にほとんど食べられてしまうという事件がありましたので、オダにかけた黒米の下にネットを張りました。コシヒカリの方はオダの場所を人目につきやすい場所に動かし、こちらにもネットを覆いました。田んぼの半分くらい刈り残っていたコシヒカリもカモ(?)にほぼ全部食べられてしまい、今年の収穫は“スズメの涙”ほどになってしまいました（泣きたいのは鳥でなく人間の方ですが・・・）

（参加者 大人6名、報告 高山邦明）



<谷津田・季節のたより>

小山町

- 10月 5日 ミソソバが咲く。小学校の観察会で子どもたちがオニヤンマなどのヤゴをたくさん見つける(高山)。
10月 11日 雨の中、斜面林からシュレーゲルアオガエルの弱々しい合唱が聞こえてきた(高山)。
10月 17日 斜面林の縁でヤクシソウが黄色い花を咲かせる(高山)。

下大和田

- 10月 3日 アライグマの足跡があった(網代)。
10月 6日 アライグマの箱わなを設置し、16日にのみ成獣を捕獲した(網代)。
10月 15日 田んぼにイノシシの足跡がありました。下大和田では初めてのこと(網代)。
10月 24日 古代米稲刈りの時に10歳を超えらと思われるクサガメが田んぼにいた(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第184回下大和田 YPP「もみすり」(第12回米づくり講座)

今年収穫したお米をもみすりして玄米にします。また、ワラを使って縄ないやリースづくりもします。

宿泊される方、食事を取る方は事前に予約が必要になりますので、ちば環境情報センターまで電話あるいはメールでお知らせください。

日時: 2015年11月14日(土)10時~15日(日)12時 *雨天決行

場所: 千葉市少年自然の家(長生郡長柄町針ヶ谷)

集合: 千葉市少年自然の家

持ち物: 弁当、飲み物、宿泊される方はその用意。

参加費: 宿泊費 大人 1040円、小学生以下 220円

食費 夕食(野外炊飯でカレーを作ります)

大人850円 子ども(小学生以上)400円 幼児無料

朝食 3歳~未就学児 411円、小学生 492円、大人 544円

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

今年の下大和田 YPP
収穫祭は12月12日
(土)に開催します。
緑米のおもちつきなど
お楽しみに!

▼第191回 下大和田 12月の谷津田観察会とごみ拾い

温暖な地にやってくる冬鳥が揃う頃です。鳥と木々の紅葉を楽しみながら谷津を巡ります。

日時: 2015年12月6日(日)9時45分~12時 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(下大和田 YPPに同じ)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター・ちば・谷津田フォーラム

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時: 2015年11月8日(日)、11月20日(金) いずれも9時45分~15時

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上) 持ち物: 飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催: ちば環境情報センター

▼第125回 小山町 YPP「緑米の稲刈り」

最後に残った緑米を刈ります。晩秋の谷津で冬鳥の声を聞きながらの作業です。

日時: 2015年11月15日(日) 10:00~12:30、小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター。

編集後記 「よう、精が出るね」、田んぼで出会うといつも大きな声であいさつをしてくれた小山の長老がお亡くなりになりました。少し前まで泥深い田んぼをお一人で耕し、米づくりをしていらっしゃいました。15年くらい前に初めてお目にかかった時は谷津の片隅で小山最後の炭焼きもしておられました。機械が入らないのは大変だからと止めた田んぼを YPP でお借りしましたが、大きな田んぼでは今年も米づくりを続けていらっしゃいました。小山で生まれ、谷津で農業を営み、その自然を見つめ育てて来られた方です。ご冥福を心からお祈りするとともに、見守って来られた谷津の自然を YPP の米づくりを通じていつまでも維持できるよう少しでも力になりたいと思い新たにしました。(高山 邦明)